



高島水際線公園は、帷子川河口域に隣接する立地特性を活かし、都市の中の貴重な水辺の自然環境を、市民が安全かつ身近に感じ育てることができる場として整備しています。

Takashima-suisaisen Park

# 高島水際線公園





## 整備テーマ

- 大都市の中においても豊かな自然を安全かつ身近に感じ育てることができる公園
- 帷子川の親水性と景観を活かし、開放感と品格があり、愛情が持てる公園風景と場を実現する
- 近隣の人々がくつろぎ、遊べる公園



### 施設の概要

高島水際線公園は、敷地面積約1.3haの近隣公園で、JR貨物線をはさんで東西2つのゾーンに分かれています。公園内の東西にのびる園路はみなとみらい21中央地区の地区計画に位置づけられた帷子川沿いの歩行者ネットワークを「水際線プロムナード」とともに形成しています。

西側ゾーンは潮入の池を中心に親水空間を取り入れ、水や水辺の生物を身近に感じること、豊かな自然体験を得ることができます。

東側ゾーンは芝生広場を中心としたくつろぎの場を提供し、水辺の開放感を楽しみながら憩うことができます。

また、公園内のモニュメントや広場デザインにより、この地の歴史を感じ楽しむことができます。

### 東側ゾーンのテーマ

水辺の開放感を基本としたくつろぎと憩いの場  
(芝生広場・イベントスペース)

### 芝生広場

利用者にくつろぎ・憩いの場を提供します。

かつてこの地が高島埠頭であったことを示す船の線形をイメージした広場デザインとしています。



### モニュメント

「みなとみらい21中央地区土地区画整理事業」の造成工事の際に発見された歴史資産(袋詰めコンクリート・車輪・いかり)をモニュメントにしています。



### 西側ゾーンのテーマ

親水空間を基本とした 観察・活動の場  
(潮入の池・生態護岸)

### 潮入の池

帷子川河口部の汽水域における多様な生物の生息空間を創出し、都市の中の貴重な自然環境の保全・再生を図っています。

海の生き物を身近に感じることができ、豊かな自然体験が得られる環境教育の場となっています。



### 公園連絡橋(跨線橋)

公園連絡橋は、東西に分かれた公園の主動線の一部となっています。

桁部分のデザインには連続性(リズム)を持たせ、シャープで繊細なデザインをテーマとしています。

### 公園連絡橋(跨線橋)について

#### 構造

橋梁形式：PCコンクリート橋(プレテンション方式単純中空床版橋)

橋長：21.4m 有効幅員：4.0m

桁下高さ：6.2m

付帯施設：エレベーター(15人乗り) 2基

鉄道上の橋梁であることから、地震時作用力を2基の橋脚に負担させるため、両橋脚とも支承を固定形式としています。また、桁にはプレテンション高強度コンクリート(50N/mm<sup>2</sup>)を採用し、桁高を最小限に抑えています。

#### デザイン

階段足下まわりのマウンドアップを行うとともに、ガラス繊維入りGRCルーバーで囲うことで、公園との一体感を演出しています。さらに、桁および階段にはガラス高欄を採用し、圧迫感を軽減しつつシャープな印象を与えています。



※帷子川河川改修事業(県)完成後の平面図です。



## 事業の位置づけ

当公園は、みなとみらい21中央地区土地区画整理事業において、帷子川河口の貴重な水辺空間を活かしつつ、地区の魅力付けの一つとなる公園として計画されました。

### 一計画・整備の経緯

平成18年4月～6月	水際公園整備に向けた検討会開催
平成18年6月～8月	水際公園～潮入りの池～構造検討委員会開催
平成18年4月～	基本・実施設計開始
平成22年5月～	整備工事着手
平成23年5月	公園供用

## 生態護岸（神奈川県管理）の整備

当公園に隣接する「生態護岸」は、潮入の池とともに帷子川河口部の一体的な生物生息空間を創出するため、自然観察などが可能な河川護岸として、潮入の池に先駆けて整備しました。

生態護岸では、鋼管杭による垂直護岸に重力式擁壁を組み合わせた構造を基盤として、浅瀬部に覆砂と自然石などの自然材料を用いて干潟環境を創出しました。

当公園の潮入の池は、生態護岸と連続した都市公園施設として、より身近で安全に自然を感じ育てる場として整備を行いました。



## 「水際公園整備に向けた検討会」「水際公園～潮入りの池～構造検討委員会」の開催

当公園の計画を進めるにあたり、都市の中の貴重な自然環境を活かし、市民が楽しく安全に自然に親しめる場を目指し、公園整備のあり方や将来の管理を検討する「水際公園整備に向けた検討会」を実施しました。

また「水際公園～潮入りの池～構造検討委員会」では、潮入の池と生態護岸が一体的に生物の生息空間を創出することを目指し、池の詳細な構造および安全管理の方法について、検討を行いました。

これらの検討会では、地元自治会をはじめ専門家や教育関係者、市民団体等の方々参加によって検討がなされました。

## 環境モニタリング調査・類似事例調査

潮入の池の整備にあたり、池をとりまく自然環境の保全・再生と利用者の安全確保の指針となる「管理運営マニュアル」を作成しました。

マニュアルの作成では、親水施設や自然観察施設など、潮入の池に類似する公園施設について事例調査を行い、その結果を元に、潮入の池の適切な管理運営手法を検討しました。

また、潮入の池整備に先駆け、生態護岸を含む帷子川の自然環境モニタリング調査を実施し、水質・底質・生物の管理目標・管理基準を策定しました。

## 歴史資産について

当公園が立地する場所は、かつて国内貿易の拠点であった横浜港の一部でした。現在は右図の青線の範囲がみなとみらい21地区となっています。

当公園では、この土地の持つ歴史を後世に伝えるべく、歴史資産を活かした整備を行いました。



### 護岸で使用されていた自然石

当公園では「潮入の池」の石積みをはじめ、多数の自然石を使用しています。これらは、旧「用品庫プール」の護岸で使用されていた自然石を、公園施設の材料として再利用したものです。

石の表面をよく見ると、貝類など付着生物の跡が残り、当時の面影を見ることができます。



### 横浜港導水堤の袋詰めコンクリート

横浜港導水堤は、帷子川から流入する土砂が横浜港に堆積するのを防ぐために明治24～25年の間に築かれた堤防で、当時の横浜港の主要施設のひとつでした。

横浜港導水堤では、我が国の港湾工事で初めてセメントが使用されたとされており、コンクリートを麻袋に入れた「袋詰めコンクリート」が使用されていました。





# 潮入の池について

## 概要

当公園では、帷子川の水を引き入れ、潮の干満にあわせて水位が変化する「潮入の池」を整備しています。

帷子川河口部汽水域の自然環境を活かして、より多様な生物の生息空間を創出し、都市の中の貴重な自然環境の保全・再生を図るとともに、大都会の中において水辺の生き物を身近に感じることができ、豊かな自然体験が得られる環境教育の場を提供しています。

## 構造

潮入の池では、2箇所の連通管により、帷子川の水を引き込んでいます。

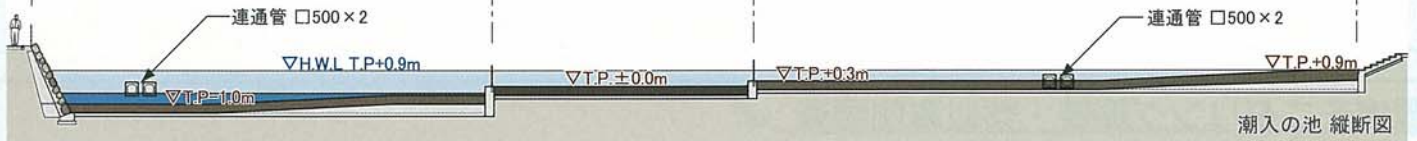
潮入の池の中は、深さに応じて3つの区域に分かれています。

「干潟①」と「干潟②」はともに干潮時に干潟となる区域で、深さと底質が異なり、より多様な干潟環境を創出しています。

「溜まり」は池底が連通管より低くなっており、常時冠水しています。



	溜まり	干潟②	干潟①
面積:	46.4㎡	51.0㎡	208.8㎡
池底高さ:	T.P.-1.0m~-0.5m	T.P.±0.0m	T.P.+0.3m~+0.9m
水深:	0.6m~1.9m程度	0m~0.9m程度	0m~0.6m程度
底質:	砂(粒径0.2mm以上)	泥まじり砂 (泥シルト分5~15%)	砂(粒径0.2mm以上)



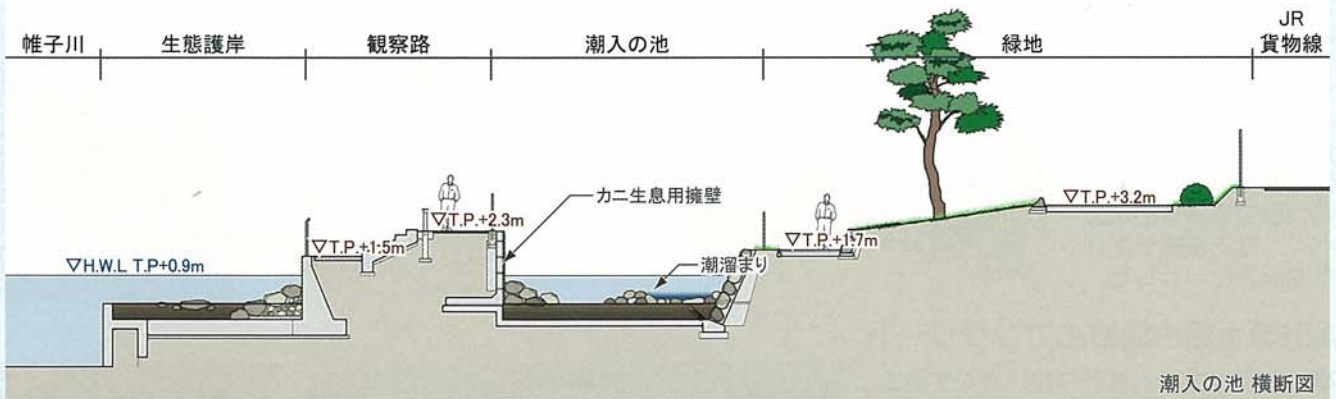
潮入の池 縦断面図  
 期望平均満潮位(H.W.L.): T.P.+0.9m ※T.P.(Tokyo Peil)=東京湾の基準高さ

## 多様な生物環境の創出

当公園では、帷子川～生態護岸～潮入の池～緑地の連続的な環境を整備しています。

当公園が整備される以前の帷子川河口域は、ほぼ垂直な護岸となっており、護岸に付着したマガキや河川を泳ぐボウなどが見られる程度でしたが、生態護岸や潮入の池を整備し、干潟や磯場などを創出することにより、ゴカイ類やアサリなどの底生生物、カニ類やエビ類などの甲殻類など、多様な生物の生息を可能とし、さらに魚類や鳥類へと連鎖する生態系の創出を目指しています。

また、潮入の池では、深さ(冠水の頻度)や底質の異なる環境をつくり、さらに磯場や潮溜まり、カニ生息用擁壁を整備することで、より多様な環境を創出しています。



潮入の池 横断面図

## 想定される生き物

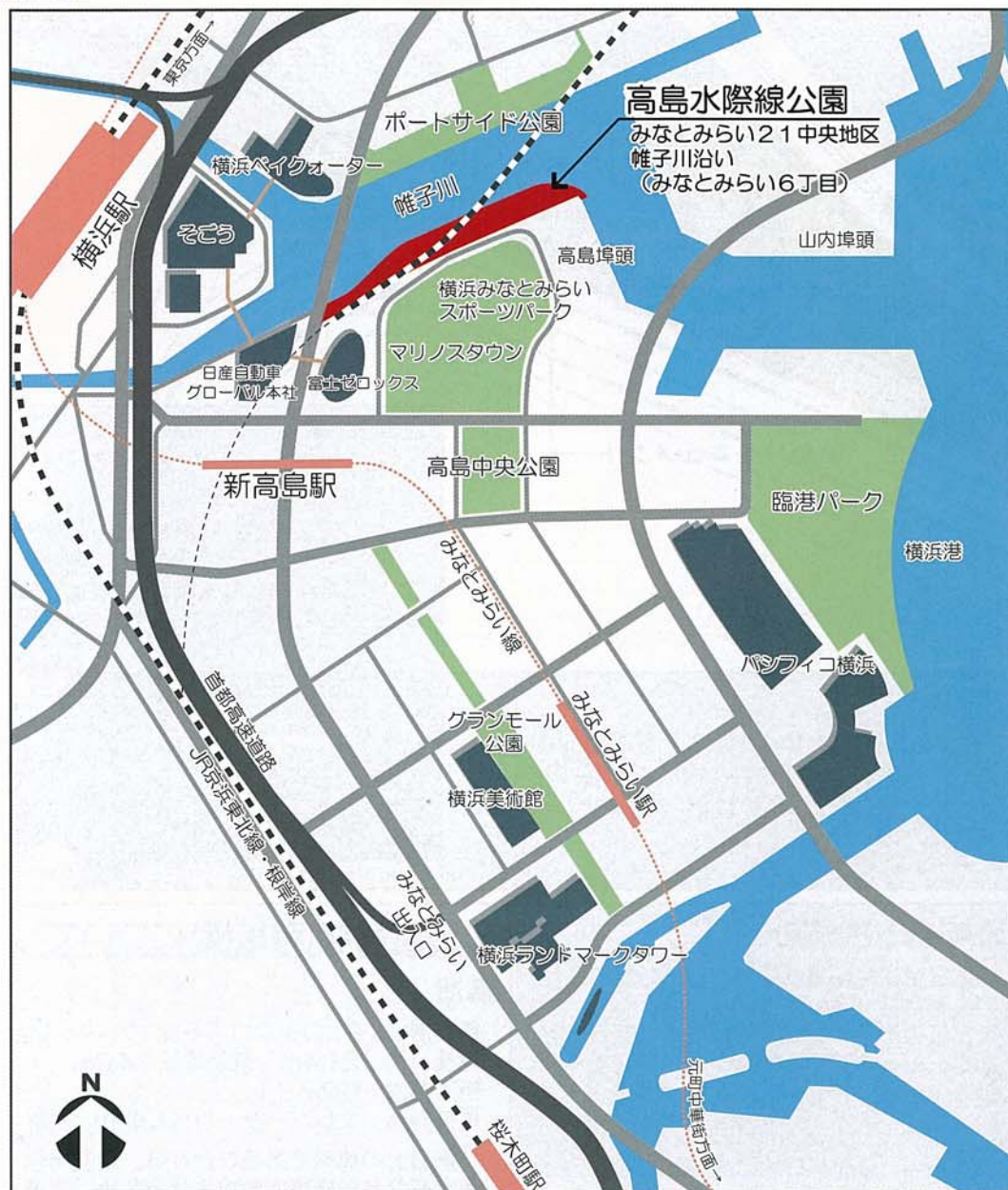




## 高島水際線公園

整備主体	独立行政法人都市再生機構
所在地	西区みなとみらい6丁目4番地 (みなとみらい21中央地区 63街区、64街区)
面積	約1.3ha
種別	近隣公園
主な施設	公園連絡橋、芝生広場、潮入の池、モニュメント、トイレなど

### 位置図



- アクセス
- みなとみらい線「新高島駅」 徒歩 約4分
  - JR・東急・京急・相鉄・横浜市営地下鉄各線「横浜駅」 徒歩 約8分

### 問い合わせ先



独立行政法人 都市再生機構  
神奈川地域支社 都市再生業務部

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1  
横浜アイランドタワー15階

URL <http://www.ur-netgo.jp>

